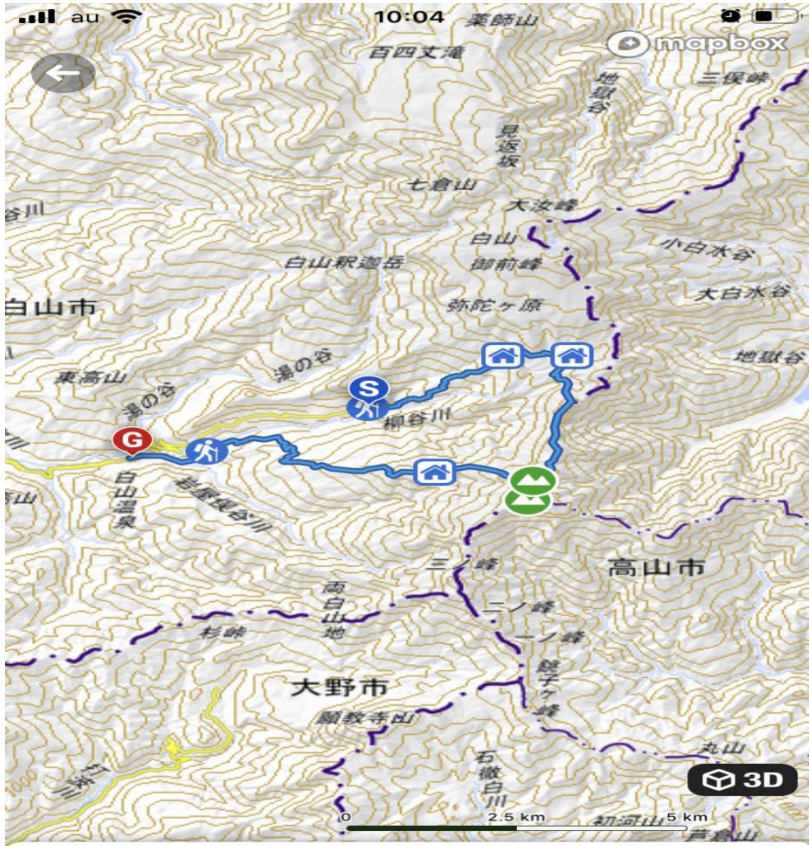


# 白山の縦走(別山～千ヶ尾根)

【日程】2020年10月10日～2020年10月11日

【エリア】白山



【形態】ハイキング

【ルート／タイム】

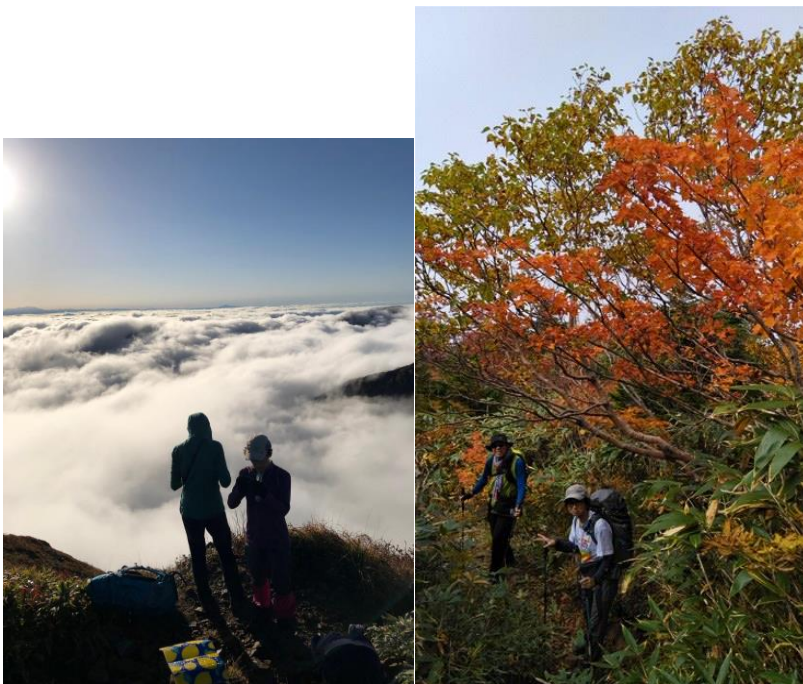
10月10日

- 10:00 : 市ノ瀬よりシャトルバス
- 10:15 : 別当出会登山口
- 11:10 : 中飯視小休憩
- 13:00 : 甚之助避難小屋にて昼食
- 13:30 : 雨具着用
- 14:30 : 南竜山荘到着

10月11日

- 5:37 : 南竜山荘出発
- 8:45 : 御舎利山山腹

8:55 : 別山山頂着  
9:15 : 別山山頂発  
9:25 : 御舎利山ピーク  
11:00 : チブリ尾根避難小屋  
14:20 : 市ノ瀬駐車場



10月10日

5時30分ごろ清岡邸に集合し出発するも、雨足は、強かった。一旦は中止となったが台風の進路が東の方に変わったという天気予報を信じて、市ノ瀬にむかった

市ノ瀬駐車場に着いた頃には雨はやんでいた。天候は薄曇りであった。シャトルバスで、別当出會出発時周辺ではまだ木々は青々としており秋の気配が感じるられなかったが、上っていくにつれ木々が少しずつ色づき始めてきていた。

甚之助避難小屋にて昼食をとった。午後からガスがかかり始め霧雨となり雨具着用しての登りとなった。それから1時間ほどして南竜山荘に到着した。

雨は上がっていた夕食まで時間があったので、小屋でもらったクーポンで缶ビールや缶酎ハイなどを買って部屋のベランダで夕暮れの雲海を満喫した。

10月11日

朝露に濡れながらの登りになった。日の出と共に草木も乾いて衣服の濡れも気にならなくなった。青空と眼下に雲海を見ながら頂上を目指して歩きは、足取りも軽く楽しいものとなった。

別山山頂は、360度の眺望で雲海の上に槍、穂高連峰、乗鞍、御嶽と浮かんでいた。

下山途中は、紅葉の木々のトンネルの中を歩いて秋を満喫した。やがて雲海の中まで下りガスの中歩くこととなった。杉 ぶな ダケカンバの大木が静かに勇壮に佇んでいた。下山するにつれ霧が雨となって雨具装着となった。市ノ瀬駐車場に着いた頃にはすっかり止んでいた。温泉に入り、夕食をとり帰路に就いた。

最後に、一度台風の為中止となった山行を、台風の進路が東に向きを変え天候の回復が予想される都すぐさま、山行リーダーの清岡氏にアプローチした堀川女史の押しの強さに感心させられた。そして別山チブリ尾根樹林帯のすばらしさを教えてくださった清岡氏に感謝します。